

2016年11月10日

横須賀市の地域医療の展望と横須賀市立うわまち病院の役割
—未曾有の高齢化社会に向けて—

横須賀市立病院運営委員会にて

横須賀市立うわまち病院
管理者 沼田 裕一

市立病院運営委員会からの発表依頼

(1) 貴病院の現状について

- ・病院の特色及び特徴 歴史、
- ・患者の動向及び収支の状況

(平成27年度もしくは平成26年度の決算状況、近年の傾向等)

- ・病院運営で苦慮されていること

(2) 貴病院の今後の運営の考え方について

・市と指定管理業務基本協定に基づき運営していますが、指定管理者として現状を踏まえ市に助言することがあればお話してください。

(3) 横須賀・三浦二次保健医療圏の医療体制について

・横須賀・三浦二次保健医療圏の中で、貴病院がどのような役割を果たしていきたいと考えているかお話してください。

経営母体である
公益社団法人地域医療振興協会とは

公益社団法人 地域医療振興協会

設立等	昭和61年5月15日設立 許可＝厚生大臣・自治大臣 平成21年12月1日 公益社団法人として登記
会員数	正会員 1,634人 準会員 8人 賛助会員 個人 6人 法人 31団体 (平成28年6月25日現在)
目的	へき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって地域の振興に寄与することを目的とする
事業	<ul style="list-style-type: none"> (1)医学生のへき地医療研修活動の指導 (2)へき地医療における診療活動基準の研究と確立 (3)総合医の確立及び養成 (4)医療情報の提供 (5)地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催 (6)へき地等に勤務する医師等の職業紹介及び派遣 (7)関係行政機関との連絡、調整 (8)会報・会誌の発行 (9)へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療を支援する病院等の開設及び運営管理の受託 (10)前号の病院等と連携し又は同病院等を運営する上で必要とする児童のための社会福祉事業の実施 (11)へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の運営事業等の養成事業 (12)その他前条の目的を達成するために必要な事業



会長 高久史磨



理事長 吉新通康

運営施設
68

- 基幹型臨床研修病院 9
- 地域病院 15
- 医療介護複合施設 10
- 診療所(単独) 29
- 老人保健施設(単独) 5

地域医療
研究所

- 地域医療安全推進センター
- 地域看護研究センター
- ヘルスプロモーション研究センター
- へき地医療支援センター
- へき地・離島画像支援センター

理事一覽

平成28年6月25日現在

<p>会長</p>  <p>高久 史麿 福岡県出身 昭和6年生 東京大卒 血液内科</p>	<p>理事長</p>  <p>吉新 通康 栃木県出身 昭和27年生 自治医大卒 内科</p>	<p>副理事長</p>  <p>山田 隆司 岐阜県出身 昭和30年生 自治医大卒 内科</p>	<p>副理事長</p>  <p>沼田 裕一 熊本県出身 昭和31年生 自治医大卒 循環器科</p>
<p>常務理事</p>  <p>吉野 淨 神奈川県出身 昭和28年生 自治医大卒 内科</p>	<p>常務理事</p>  <p>小田 和弘 静岡県出身 昭和28年生 自治医大卒 内科</p>	<p>常務理事</p>  <p>白崎 信二 福井県出身 昭和28年生 自治医大卒 外科</p>	<p>常務理事</p>  <p>折茂賢一郎 群馬県出身 昭和33年生 自治医大卒 内科</p>
<p>常務理事</p>  <p>宮崎 国久 長崎県出身 昭和35年生 自治医大卒 外科</p>	<p>理事</p>  <p>細田 瑳一 兵庫県出身 昭和6年生 東京大卒 循環器科</p>	<p>理事</p>  <p>川上 正舒 東京都出身 昭和21年生 東京大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>簗田 清次 昭和28年生 東京大学卒 内科</p>
<p>理事</p>  <p>崎原 永作 沖縄県出身 昭和29年生 自治医大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>神山 潤 長崎県出身 昭和31年生 東京医歯大卒 小児科</p>	<p>理事</p>  <p>塩津 英美 東京都出身 昭和32年生 順天堂大卒 産婦人科</p>	<p>理事</p>  <p>西尾 博至 大阪府出身 昭和39年生 自治医大卒 内科</p>
<p>理事</p>  <p>藤来 靖士 埼玉県出身 昭和40年生 自治医大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>井上 陽介 大阪府出身 昭和44年生 京都大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>伊瀬知 敦 鹿児島県出身 昭和45年生 自治医大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>富樫 政夫 昭和22年生 京都大卒 事務局長</p>

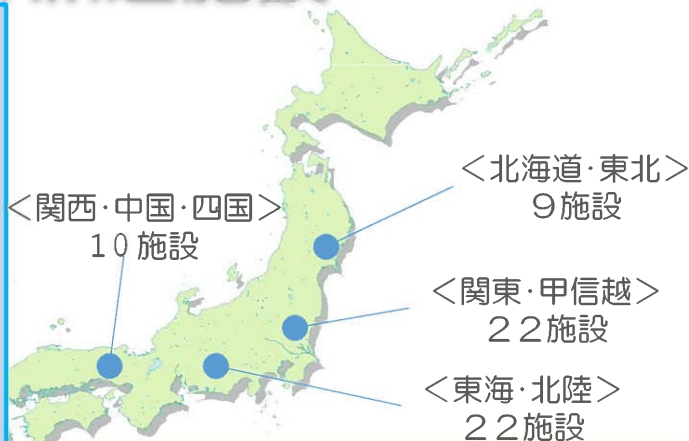
協会内資料より

運営施設と医師派遣施設

※施設の数え方は、協会「パンフレット（2015.10.1改訂版）」に準拠

<医師派遣施設>平成27年度上位15施設

- ①東京都◇神津島診療所
- ②茨城県◇北茨城市民病院
- ③岐阜県◇山岡診療所
- ④神奈川県◇三浦市立病院
- ⑤北海道◇市立根室病院
- ⑥栃木県◇日光市立小来川診療所
- ⑦岐阜県◇坂内診療所
- ⑧福岡県◇方城診療所
- ⑨奈良県◇吉野病院
- ⑩長崎県◇上五島病院
- ⑪長崎県◇対馬病院
- ⑫福岡県◇大島診療所
- ⑬千葉県◇公立長生病院
- ⑭新潟県◇ゆきぐに大和
- ⑮岐阜県◇藤橋診療所



<診療所（単独）>

- 青森県◇白糠診療所 ◇東通村診療所
- 栃木県◇日光市立奥日光診療所
- 群馬県◇嬭恋村国民健康保険診療所
- 神奈川県◇山北町立山北診療所
◇真鶴町国民健康保険診療所
- 新潟県◇ゆきあかり診療所
- 石川県◆加賀地域医療支援センター 平成28年4月～
- 岐阜県◇揖斐川町春日診療所 ◇沓子・卯-診療所
◇関市国民健康保険津保川診療所
◆揖斐川町谷汲中央診療所 平成27年4月～
- 静岡県◇西伊豆町安良里診療所◇西伊豆町田子診療所
◇いなずさ診療所 ◇上河津診療所
◇伊豆下田診療所 ◇戸田診療所
- 三重県◆鳥羽市立長岡診療所 平成28年4月～
- 滋賀県◆西浅井地区診療所 平成27年4月～
◆米原市地域包括医療福祉センター
平成27年10月～
- 奈良県◇奈良市立柳生診療所 ◇奈良市立田原診療所
◇奈良市立月ヶ瀬診療所◇奈良市立都祁診療所
◇明日香村国民健康保険診療所

<基幹型臨床研修病院>

- 東京都◇東京北医療センター ◇練馬光が丘病院
- 千葉県◇東京ベイ・浦安市川医療センター
- 神奈川県◇横須賀市立うわまち病院
◇横須賀市立市民病院
- 三重県◇三重県立志摩病院
- 静岡県◇伊東市民病院
- 奈良県◇市立奈良病院
- 長崎県◇市立大村市民病院
- 北海道◇十勝いけだ地域医療センター
- 宮城県◇公立黒川病院
- 茨城県◇石岡第一病院
- 茨城県◇村立東海病院
- 栃木県◇日光市民病院
- 群馬県◇西吾妻福祉病院
- 東京都◇台東区立台東病院・老人保健施設千束
- 新潟県◇湯沢町保健医療センター
- 山梨県◇上野原市立病院
- 福井県◇公立丹南病院
◇越前町国民健康保険織田病院
- 岐阜県◇市立恵那病院
- 静岡県◇伊豆今浜病院

<複合施設>

- 青森県◇東通村保健福祉センター
◇六ヶ所村医療センター
- 宮城県◇女川町地域医療センター
- 福島県◇磐梯町保健医療福祉センター
- 群馬県◇六合温泉医療センター
- 埼玉県◇公設宮代福祉医療センター
- 福井県◇おおい町保健・医療・福祉総合施設
- 岐阜県◇揖斐郡北西部地域医療センター
- 三重県◇志摩地域医療福祉センター
- 滋賀県◇地域包括ケアセンターいびぎ

全国68施設

<介護老人保健施設（単独）>

- 青森県◇のはなしょうび
- 栃木県◇にっこう
- 千葉県◆ゆうゆう 平成28年4月～
- 東京都◇さくらの杜

<看護学校>※別掲

- 埼玉県◇さいたま看護専門学校
- 奈良県◇奈良市立看護専門学校

施設運営以外のさまざまな事業

東京ベイJADECOM-NKP
後期臨床研修医 募集



JADECOM-NKP



さいたま看護専門学校

さいたま看護専門学校（平成24年4月開校）
奈良市立看護専門学校（平成25年4月開校）



公衆衛生に関する
専門情報サイト

公衆衛生ネット
（ヘルスプロモーション研究センター）



へき地医療
情報サイト

へき地ネット
（ポータルサイト）



沖縄・離島
医療支援サイト

ゆいまーるプロジェクト
（沖縄地域医療支援センター）

※この他「地域医療研修ナビ」・「JADECOM Career」の各サイトを運営



医師搬送システム事業機 ベル式429型 修繕式 2013年2月9日

フライング・ドクター・サービス



地域医療安全推進センター

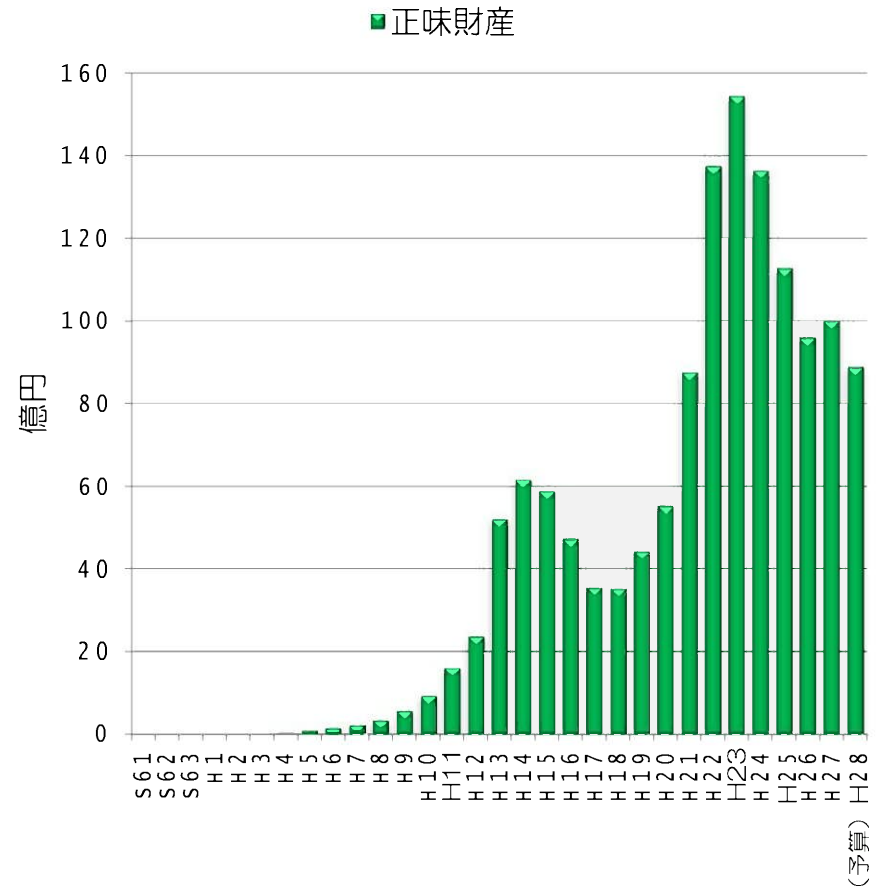
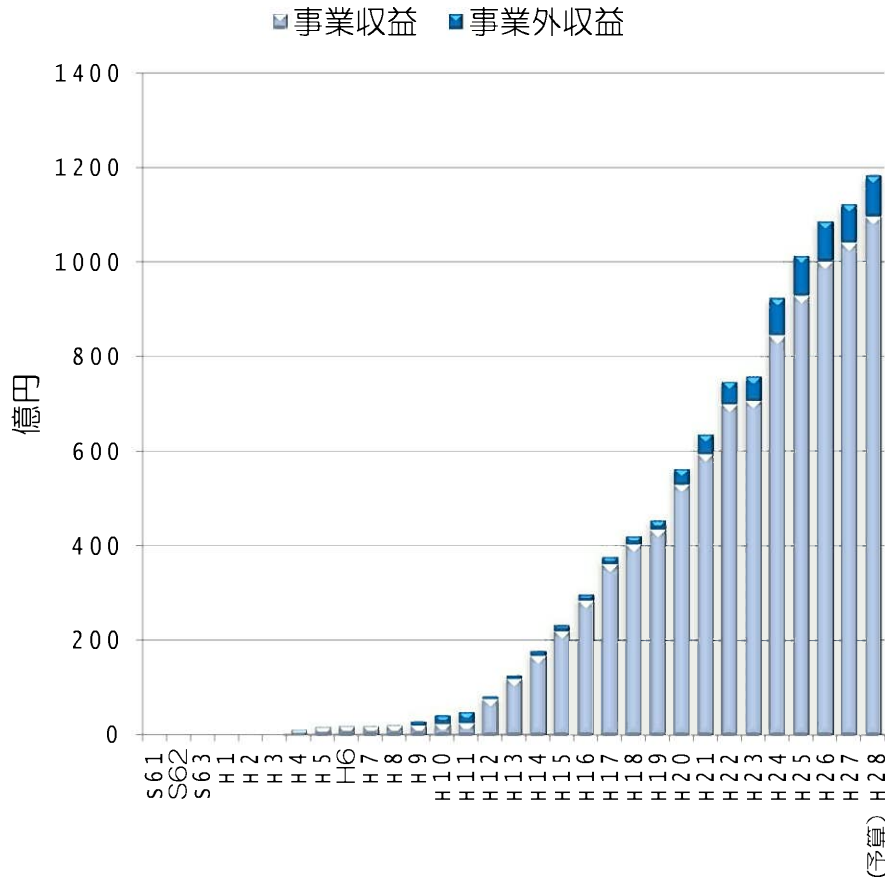


シミュレーションセンター
(RISTIS PTIS RISO ALSO 等)

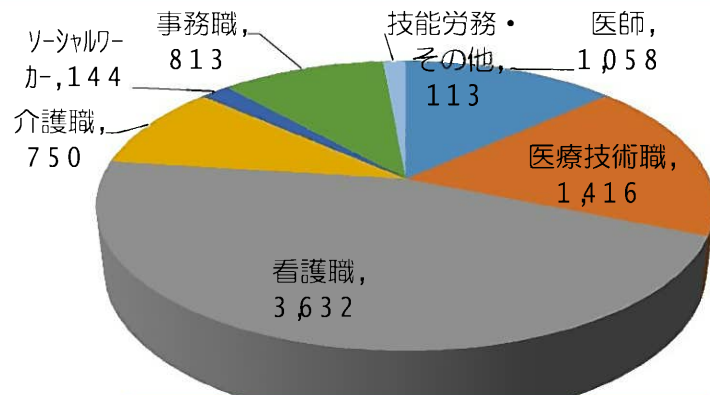


へき地・離島画像支援センター

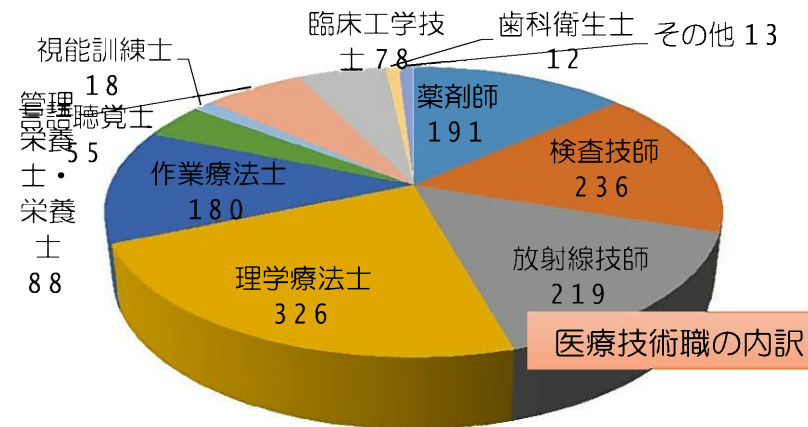
創立以来の財務推移



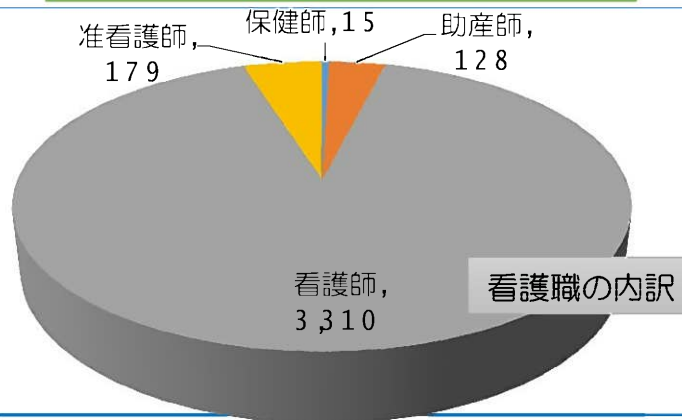
地域医療振興協会の正職員数



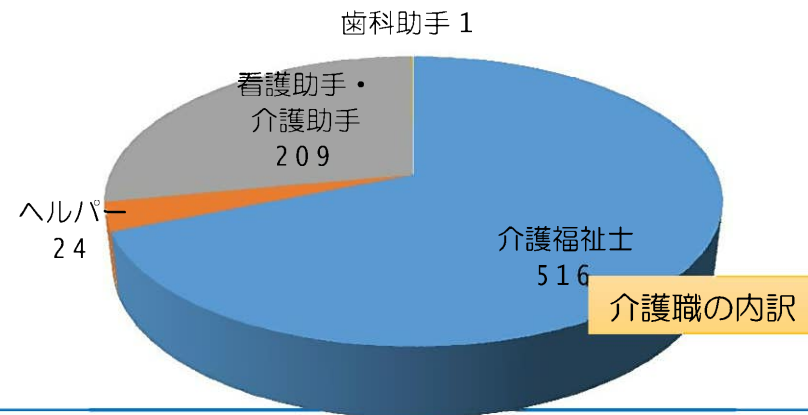
平成28年4月現在 合計7,926人



医療技術職の内訳



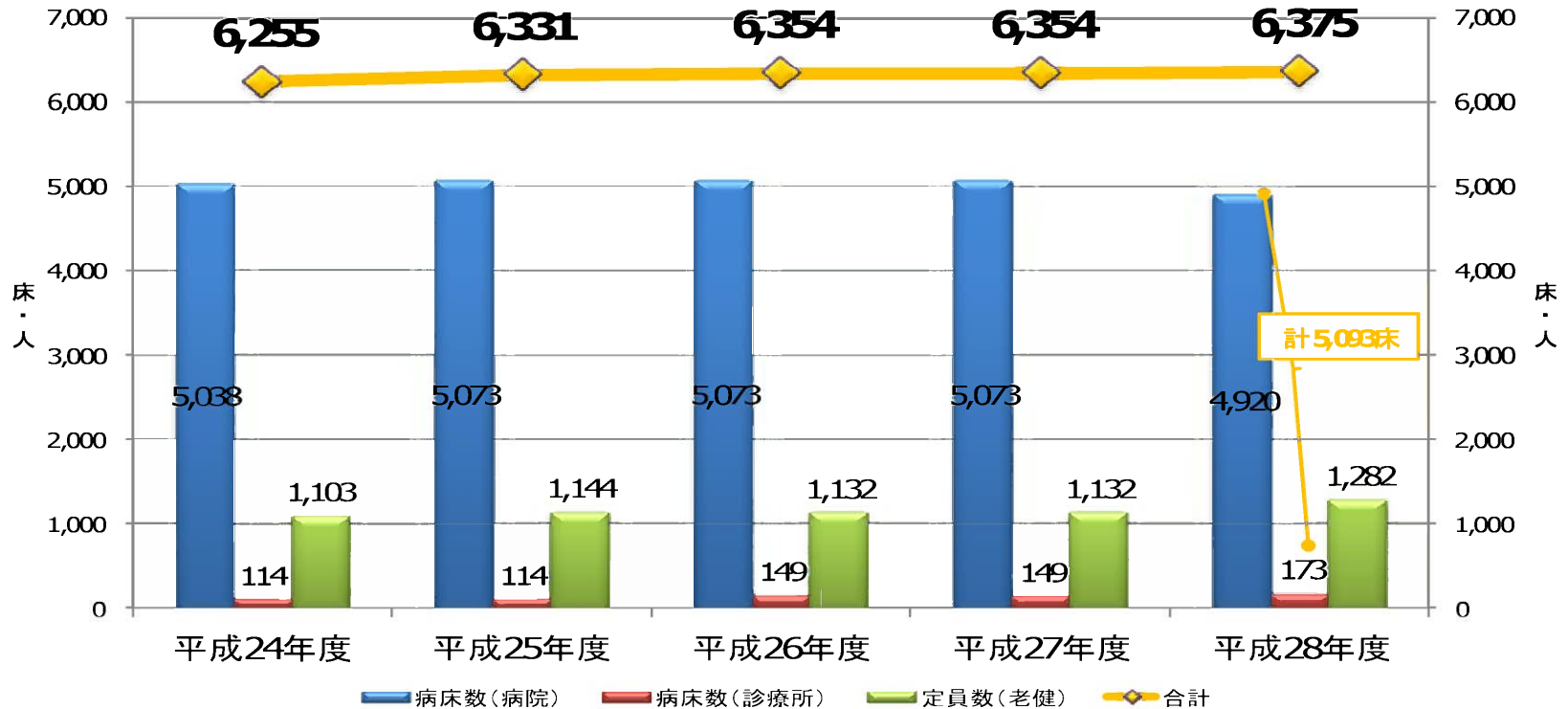
看護職の内訳



介護職の内訳

⇒平成27年4月(7,794人)に比べ、全体で132人の増加

近年の地域医療振興協会の病床数・定員数



平成27年度の医師派遣（年間延15,917日）

協会外(上位施設)

※協会外施設合計 年間延 3,128日

東京	神津島診療所	433	福岡	東峰診療所	50
茨城	北茨城市民病院	335	静岡	伊豆赤十字病院	46
岐阜	山岡診療所	259	新潟	南魚沼市民病院	40
神奈川	三浦市立病院	205	和歌山	高野町立高野山総合診療所	38
北海道	市立根室病院	136	福岡	小竹町立病院	30
栃木	日光市立小来川診療所	118	福岡	相島診療所	30
岐阜	坂内診療所	82	沖縄	伊江村立診療所	30
福岡	方城診療所	78	奈良	山添村国保東山診療所	27
奈良	吉野病院	69	福島	ばんだい荘	25
長崎	上五島病院	65	長崎	上対馬病院	23
長崎	対馬病院	63	宮城	七ヶ宿診療所	20
福岡	大島診療所	57	三重	町立南伊勢病院	20
千葉	公立長生病院	56	長崎	五島中央病院	20
新潟	市立ゆきぐに大和病院	52	静岡	下田メディカルセンター	18
岐阜	藤橋診療所	51	北海道	町立厚岸病院	16

協会内(上位施設)

※協会内施設合計 年間延 12,789日

静岡	伊東市民病院	1344	青森	六ヶ所村医療センター	489
三重	県立志摩病院	1225	山梨	上野原市立病院	400
東京	練馬光が丘病院	1225	岐阜	市立恵那病院	375
神奈川	横須賀市立市民病院	710	福岡	飯塚市立病院	325
長崎	市立大村市民病院	702	沖縄	公立久米島病院	278
群馬	西吾妻福祉病院	698	福井	おおい町保健・医療・福祉総合施設	258
北海道	十勝いけだ地域医療センター	695	石川	山中温泉医療センター	185
新潟	湯沢町保健医療センター	550	青森	東通地域医療センター	178
茨城	村立東海病院	544	宮城	女川町地域医療センター	54

(1)=1 うわまち病院の歴史

横須賀市立うわまち病院開設までの歴史

- | | |
|----------|---|
| 明治24年 3月 | 創設 横須賀衛戍病院 |
| 昭和11年11月 | 名称変更 横須賀陸軍病院 |
| 昭和20年12月 | 厚生省移管・改称 国立横須賀病院
外地引揚者の診療業務にあたる |
| 昭和21年12月 | 一般患者診療開始
中里分院に外来診療部門開設、走水分院閉鎖 |
| 昭和40年 3月 | 現在の病棟竣工 |
| 昭和41年 3月 | 外来診療棟竣工（不入斗本院・中里分院を閉鎖） |
| 平成14年 7月 | 国立横須賀病院閉院 → 横須賀市に経営移譲
横須賀市立うわまち病院が発足
(公設民営: 社団法人地域医療振興協会管理受託) |

国立横須賀病院の委譲経緯

- 昭和60年3月 国は国立病院、療養所の再編・合理化の基本方針を策定
- 昭和61年1月 横須賀市は国立横須賀病院の存続に関する要望活動(市議会3回、横須賀市1回)
- 昭和62年10月 国立病院等の再編成に伴う特別措置に関する法律制定
- 平成8年11月 国立病院、療養所の再編成・合理化の基本方針を改定
- 平成8年12月 行政改革プログラムを閣議決定
- 平成11年6月 厚生省関東信越地方医務局長から国立横須賀病院の後医療の確保方策について、協力を要請
- 平成12年2月 横須賀市長が、市で国立横須賀病院の委譲を受け運営を社団法人地域医療振興協会に委託する方針を示す。
- 平成12年4月 市健康福祉部に「国立病院移譲準備室」を設置
- 平成12年9月 厚生省、神奈川県、横須賀市、社団法人地域医療振興協会の四者により、委譲問題に関する基本的事項について協議(四者協議)
- 平成13年7月 上記の関係四者が、委譲問題に関する基本的事項について最終確認
- 平成14年7月 7月1日に横須賀市立うわまち病院を開設。診療科目14科、病床数350床(一般病床334床、結核病床16床)病院の管理運営は、社団法人地域医療振興協会に管理委託。

横須賀市議会本会議 澤田市長答弁より

平成12年2月23日

- **国立横須賀病院については**、「国立病院等の再編成に伴う特別措置に関する法律」に基づき、平成8年12月に閣議決定された行政改革プログラムにより平成12年度末までに**移譲先が決まらない場合には廃止**する旨の方針が示されてきました。**しかし、同病院の廃止は地域医療の著しい後退をもたらすばかりでなく、雇用の混乱を招くものであります。**そのため、本市が移譲を受けることとし、移譲後の病院の運営については、自治医科大学の協力を得て**社団法人地域医療振興協会に委託する**という考えであります。

【うわまち病院移譲時の条件】

- (1) 引継ぎ職員を2分の1以上引き受けること
 - (2) (1)を条件に、資産譲渡は無償とすること
 - (3) 平成14年6月30日現在(移譲前日)、国立横須賀病院に入院している患者さんは、患者さんの意向を踏まえ、引き継ぐこと
-
- つまり地域医療振興協会が国立病院の職員を50%以上継承することで、国立横須賀病院の土地、建物、医療機器などは無償で市の資産になりました。
 - (1)、(2)は、以下の「国立病院等の再編成に伴う特別措置に関する法律(昭和62年法律第106号)第2条の3の規定に基づきます)

ようこそ
国際 海の手 文化都市
横須賀へ

2016/11/11

Yokosuka General Hospital
Uwanachi

17

経過（H14年7月 - H16年3月）

改修工事

H15年1月

H14年7月：うわまち病院開院（改修工事・ソフトランディング）
臨床研修指定病院
診療情報開示
Risk management : blame free
outsourcing・SPDの導入

H15年3月：ordering 導入

H15年4月：臨床研修センター設置

H15年7月：紹介率30%以上、平均在院日数17日未満目標

H15年8月：育成型人事考課一考課訓練開始

H15年10月：救急総合診療部・救急センター設置

H15年12月：急性期入院加算・紹介外来加算・
初診料の紹介患者加算Ⅳ

H16年1月

H16年3月：電子カルテ導入

経過(H 16年 4月 - H 18年 8月)

H 16年4月:患者アドボカシー室設置

H 16年4月:育成型人事考課試行

H 16年4月:DOCTOR CAR 導入

HOT LINE 導入(医師会・救急隊)

H 16年8月:救命救急士気管挿管研修開始(プレホスピタルケア)

H 16年9月:TQM 導入

新棟工事

H 17年1月

H 17年2月:コンプライアンス導入

H 17年2月:病院機能評価受審

H 17年6月:3F 病棟開棟! 劇的な経営改善!

H 17年 12月:循環器科 日経新聞心臓病治療内科部門 AAA 取得

H 18年1月

H 18年 6月:療養型・回復期リハ病棟・新手術室・新リハビリセンター
新低侵襲(外来)手術センター・病棟フルオープン380床

H 18年 7月:DPC 準備病院

H 18年9月:TQM 全国大会発表

H 18年 12月:脳神経外科 日経新聞 BAA

経過(H 18年 9月 - H 22年 7月)

H20年1月	H19年 5月: 高圧酸素療法・BSC 導入 H19年 4月: 2回目DPC 準備病院 H19年12月: 雑誌プレジデント当院循環器科 PCI数全国160 位 H19年12月: 増床 新 ICU 4床等、 417床
H21年1月	H20年 4月: DPC 参加・71 看護基準取得(三浦半島初) H20年 4月: Flat Panel Angio (2台目)・64列マルチスライスCT H21年2月: うわまち病院診療連携の会 H21年4月: 地域医療支援病院申請 H21年11月: 地域医療支援病院認定
H22年1月	H22年4月: 地域医療振興協会・横須賀市立市民病院(482 床)の 運営受託 H22年7月: ICU 8床へ増床、NICU 3床開設

経過 (H 22年8月 - H 26年 12月)

H23年1月

平成22年11月:「脳卒中」について、地域連携診療計画管理料の認定
平成22年11月:ハワイ大学シミュレーションセンターに見学団を送る
平成22年12月:がん治療連携指導料の認定

H 23年1月:O H S U F a m i l y M e d i c i n e 日比野D r.短期留学

H 23年2月:うわまち病院診療連携の会

H 23年2月:第5260回 Q C サークル全国大会(別府)、感動賞を受賞

H 23年3月11日:東日本大震災 災害救護派遣延べ208日

H 23年3月:ハワイ大学シミュレーションセンターS i m T i k iに見学団派遣

H 23年4月:医療安全管理者の設置

H 23年6月:S i m . H o s p . U w a m a c h i シミュレーションセンター開設

H 23年7月:ICU 10床へ増床

H 23年11月:ハワイ大学シミュレーションセンターに見学団派遣予定

H24年1月

O H S U , T J U 見学Japan center計画.

H 24年3月:320列マルチスライスCT導入

H25年1月

H 25年4月:救命救急センター認定

経過 (H 27年1月 = H 28年 10月)

H26年7月:自治体立優良病院会長表彰

H 26年8月:神奈川県周産期母子医療センター認定・
神奈川県周産期救急医療システム中核病院認定

H27年1月:高精度放射線治療開始 (IMRT, SBRT, IGRT)

H27年4月: ICU(8床), HCU (20 床)

H27年6月:自治体立優良病院総務大臣表彰

H27年7月:VRE発生 (out breakせず) →撲滅

H28年1月:VRE発生 →三浦半島全体で感染対策継続

H28年4月: ICU(8床), HCU (24 床)に増加

H28年10月:血液浄化室開設 (慢性透析の開始。透析機器10台)
災害拠点病院の申請

横須賀市立うわまち病院新築

救急・災害医療の対応能力を持ち、

臨床・研修・教育のすべてに高い能力を持つ病院らしい病院

- JCI/ACGMEの取得 世界標準

横須賀市からうわまち病院運営に あたっての依頼事項

小児・周産期医療の提供

救急医療の提供

災害医療の提供

病院機能評価の認定

地域医療支援病院の指定

基幹型臨床研修指定病院の指定

安全管理に基づく医療の提供地域医療機関との連携・
支援、地域医療の質向上のための取組の実施

主なもの

(1)=2 うわまち病院の特色

横須賀市立うわまち病院概要

許可病床数 417床

(一般病床287床、回復期病床50床、療養病床50床) 診療科数 28科

開設年月日 平成14年7月1日

医療指定

保険医療機関、全国国保取扱医療機関、生活保護法指定医療機関、地域医療支援病院、認定結核予防法指定医療機関、労災法指定医療機関、更生(育成)医療機関、指定養育医療機関、臨床研修指定病院、麻酔科標榜許可、救急病院認定、DPC対象病院、救命救急センター、神奈川県災害協力病院、地域周産期母子医療センター、難病指定医療機関



おはようございます
静かな待合室

26



患者さまへ

席をはずされる時
お隣りになった時
必ず窓口に声をおかけ下さい

ご案内

診察後は
自動再受付機に通した後
お手数ですが
もう一度各科設置の

自動再受付機で受付した患者様
ここに診察券を入れて下さい。

*calm and short hospital stay
no T.V. or magazine*

**病院滞在は極力短時間に
勿論、テレビも雑誌(感染防止)もありません**



救命救急センター
morning conference

ICU-8, HCU-24 / NICU-6, GCU-6
毎朝のラウンド、全科の垣根を取り払う

全体集会



2016/11/31

Yokosuki General Hospital
Uwamachi

29

当直者(16名医師**10**名、コメディカル**6**名)
朝のミーティング

真夜中でも明るい病院

2016/11/11

Yokosuka General Hospital
Uyamauchi

30

朝の医局会



2016/11/11

Yokosuka General Hospital
Utsunomiya

31

理念:

私たちは、優しい心、深い知識、高い技術をもって安全に配慮した、良質な医療を提供し、地域社会に貢献します。

基本方針:

- 1 私たちは説明責任を果たし、医療の透明性を保つことで、安全な医療を受診者とともに築きます。
- 2 私たちは、救急・災害医療の充実につとめます。
- 3 私たちは診療連携に力を入れ、市民とともに地域医療を守ります。
- 4 私たちは、医療に従事する誇りとよろこびを持ち、勤勉であり、強い意志を持ち、進歩的で合理的な考え方に基づいた医療を提供します。
- 5 私たちは、自己の教育能力を高め、教育研修病院として将来の地域医療を担う人材の育成につとめます。

基本方針 1 : accountability and permeability

医療の透明性・説明責任・患者本位・安全な医療

診療情報開示制度

Risk Management : "blame free"

Informed consentの徹底

Second opinionの推進

患者憲章の制定 (030327制定, 050111改訂)

医療相談室にMSW 5人体制

患者アドボカシー室設置

LGBTQへの対応

手術等で患者本人以外の同意を得る時の対応について

(平成28年9月1日毎日新聞掲載)

患者本人およびその家族などに説明と同意を行う際の同意書署名等に関する横須賀市立うわまち病院の指針

を策定(平成27年11月27日)

□配偶者と実質的に同じ立場にある同性パートナー等の方々にも、同意書署名等に関して家族と認められるよう指針を策定し明文化。



基本方針 2 : 救急・災害医療の充実

「敷居は低く、間口は広く、プレホスピタルまで」

救命救急センター・ER型救急総合診療部の設置

2 **HOT LINES** (医師・救急隊) 24時間・365日

2 **DOCTOR CARS** (医師・救急隊)

横須賀市医師会夜間救急外来：産婦人科・耳鼻咽喉科

救急隊との良好な関係

2回／月の院内勉強会

3カ月に1回・三浦市、葉山町消防署、横須賀市消防局
にて講義

横須賀市化学災害訓練 ドクターカー出動

ACLS 1回／月・**BLS** 3カ月に1回 当院にて講義

ドクターカー(2台)の運行形態

*** 基本的には出動要請は医師

- 1) 病院・診療所間搬送 救急車レベルでは運搬に困難あり
医師の処置・観察が必要な患者を
安全に搬送する
- 2) 医師の現場出場 患者搬送に困難があり、緊急処置
が必要な場合、医師が現場で医療
活動を行う
- 3) 心肺停止患者対応 医師、救急救命士と連携して活動を行う
(ドクターカーと救急車のドッキング)

Mobile CCU

搭載資器材 (ベース車両は高規格救急車)

- ・心電図モニター、酸素ボンベ
- ・気道確保セット、外傷処置セット
- ・緊急医薬品、直流除細動器、人工呼吸器
- ・IABP (大動脈内バルーンポンプ)、PCPSまで他

2016/ 11/ 11

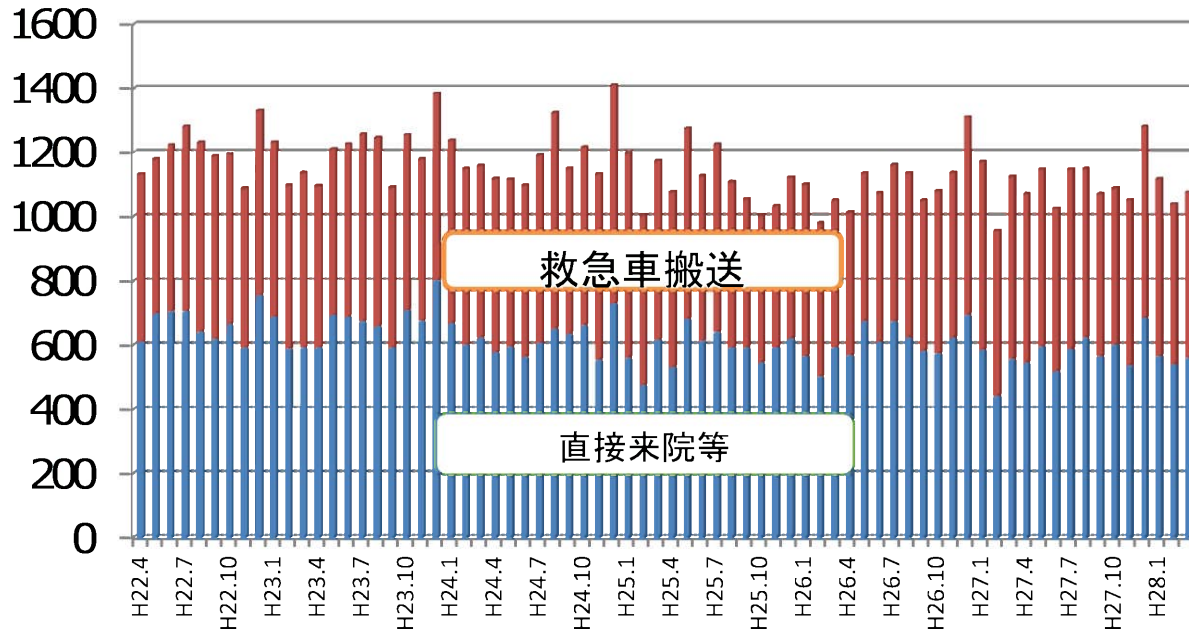
Yokosuka General Hospital
Uwamachi



36

救急患者数／月（H22～H27）

救急車受入台数は年間約6,000台から6,500台と規模に比し多数
少ない救命救急センター病床・狭い救急外来
武器はハードではなく
ハート&ソフト



災害時医療への対応

- ☑ **神奈川県災害協力病院に指定** (平成26年3月)
- ☑ 現在地は、**標高28mの立地**にあり、津波対策に適している
- ☑ 横須賀市との指定管理基本契約にて災害時医療の提供を約束

神奈川県災害協力病院 指定証

医療機関名 横須賀市立うわまち病院

所在地 横須賀市上町2-36

この医療機関を神奈川県災害協力病院に指定します

平成26年3月27日

神奈川県知事 黒岩 祐治



災害協力病院は、国が指定する災害拠点病院と同様の機能を有する病院です。当院は、平成26年3月に神奈川県より災害協力病院に指定されています。またDMATは他県の災害において派遣されるものです。必ずしも域内で起こった災害にFocusを当てたものではありません。

基本方針 3 : 診療連携と地域医療

診療連携 : 病院・診療所訪問

内科・小児科
船山医院

	夏	冬	
H14年	8	7	
H15年	11	34	
H16年	38	43	
H17年	73	97	
H18年	135		
合計	265	181	446

「顔の見える診療連携」
「電話一本で対応します。」

HOT LINE pamphlet
DOCTOR CAR pamphlet



患者さんをご紹介頂く時の職員や医師の電話対応には何か問題は有りませんでしたか？
ご紹介頂いた患者さんで返事がなかったようなケースはありましたか？
その他診療連携でご意見はありませんか？

Feed back

定期的に紹介患者リストを送って欲しい。
かかりつけの患者が入院したら紹介でなくても知らせて欲しい。
CT, MRIの画像や検査結果を直接internetで見えるようにして欲しい。
あそこの病院は・・・。（他山の石）